



6月の
定例会

② こんなことが決まりました
5月臨時会・6月定例会

⑧ 常任委員会報告
総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会

⑤ ズバリ!!! 町政を問う
2議員が質問

⑬ 全員協議会報告
帰還困難区域の今後について



富岡町議会の
ホームページはこちらから

赤白がんばれ! / こども園・小・中学校合同運動会

一般会計 補正予算

給付金事業の実施等による増額 《6,873万円を増額補正》

生活支援臨時特別事業など各種給付金事業の実施等により6,873万円の増額補正を行い、総額143億5,604万円となりました。補正のあった事業は下表のとおりです。

事業内容(費目名)	補正予算額
郡山支所管理費(賃借料)	23万円増
生活支援臨時特別事業費(給付金・委託料 他)	5,083万円増
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費(給付金・委託料 他)	935万円増
中学校施設維持管理諸経費(委託料)	59万円増
予備費	773万円増



答 生活環境課長
作業性の低下が生じることは考えられますが、普通運転免許で運転可能であり、電動油圧昇降機により少人数でも操作が可能である利点があり、他自治体での導入実績もあります。また、消防団との調整も行いました。
今回の車両購入については実車確認をしたうえで決定していますが、今後の車両更新のため作業性等を検証します。

**議員が切り込もう!!
質疑応答**
【小型動力ポンプ積載車購入】
問 トラックタイプではなくワンボックスタイプだが、実際に出勤した際の作業性が悪くなるのでは。また、配備される分団との協議は。
今後、他分団において車両の更新がある時のため、トラックタイプとワンボックスタイプの作業性等をしっかりと検証してもらいたい。(遠藤一善)



画像はイメージです



画像はイメージです

【資料より抜粋】
ワンボックス型小型動力ポンプ積載車

問 指名業者の選定方法は。(安藤正純)
答 生活環境課長
指名競争入札参加申し込み事業者の中で消防資機材を取り扱える事業者を選定しました。

【放課後児童クラブ施設整備工事】

子どもと保護者とが安心できる教育環境の充実と、移住・帰町意欲向上及び町内居住人口の拡大を図ることを目的とする放課後児童クラブ施設整備工事について、可決しました。

(6月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の概要】

- 工 期 令和6年3月15日
- 金 額 3億5,090万円
- 契約相手方 富岡町中央一丁目92番地 桂建設株式会社

【総合体育館耐震補強及びその他改修工事】

令和4年3月発生の地震により受けた構造体の損傷などの被害に対する耐震改修及び一部設備の更新工事、加えて体育施設の長寿命化を図るための工事について可決しました。

(5月臨時会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の概要】

- 工 期 令和6年3月15日
- 金 額 4億5,402万5,000円
- 契約相手方 福島県郡山市向河原町4番1号 仙建工業・桂建設特定建設工事共同企業体

【小型動力ポンプ積載車購入】

富岡町消防団に配備している小型動力ポンプ積載車の老朽化に伴い、火災現場での即応・放水体制の確保を図るため車両を購入することについて、可決しました。

(6月定例会) 全会一致 原案可決

【概要】

- 取得予定価格 1,701万7,000円
- 契約相手方 いわき市内郷級町金谷15番地4 東部産業株式会社 自動車部
- 購入物内訳 ・小型動力ポンプ積載車 1台



動産の取得



固定資産評価審査委員会委員に再任
富岡町固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、伏見克彦さんの再任を可決しました。
任期は、令和5年7月1日からの3年間です。
(6月定例会) 全会一致 原案可決

人事案件



表彰



左から遠藤一善議員、安藤正純議員、宇佐神幸一議員

自治功労者表彰
令和5年5月6日に福島県町村議会議長会定期総会が開催され、その席上で遠藤一善議員、安藤正純議員、宇佐神幸一議員が自治功労者表彰を受けました。
それぞれ平成24年3月31日から町議会議員を務め、議員活動を通して地方自治の振興発展と住民福祉の向上に寄与された功績に対して贈られたものです。

こんなことが決まりました

ズバリ!

町政を問う



2議員が質問

6月定例会の一般質問に2議員が登壇し、町への対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

1 堀本 典明 議員……………6



- 移住のニーズに対応する準備を
- 行政DXに関する町の取組状況は



2 佐藤 教宏 議員……………7



- 町公共施設等総合管理計画の見解は
- 職員の業務平準化を



山本 育男 町長

動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。

※山本町長の一般町政報告はこちらから



臨時会・定例会審議議案一覧

令和5年第2回臨時会で審議した議案とその結果

審議議案・概要	結果
◆専決処分の報告及び承認	
議案第28号 専決処分の報告及びその承認について (富岡町税条例の一部を改正する条例)	全会一致 原案可決

※第2回臨時会における「工事請負契約」は別頁に詳細を掲載しております。また、各議案については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。

令和5年第3回定例会で審議した議案とその結果

審議議案・概要	結果
◆条例の改正案件	
議案第31号 富岡町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第32号 富岡町東日本大震災等による被災者に対する令和5年度の町税等の減免に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決

※第3回定例会における「人事案件」「工事請負契約」「動産の取得」「一般会計補正予算」は別頁に詳細を掲載しております。また、各議案については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。

訂正とお詫び

令和5年6月発送の「令和4年度富岡町議会の活動状況報告」の記載について下記のとおり誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。



開催年月日	会議名称	出席	堀本典明	佐藤教宏	佐藤啓憲	渡辺正道	高野匠美	遠藤一善	安藤正純	宇佐神幸一	渡辺三男	高橋実
R 4 . 9 .13	令和4年第7回定例会(第1日目)	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
誤 R 4 .12.14	令和4年第8回定例会(第1日目)	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
正 R 4 .12.14	令和4年第8回定例会(第1日目)	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



佐藤 教宏 議員

問 町公共施設等総合管理計画の見解は

答 計画に基づき適正化に向け進めている

問 町長 本計画に基づき、震災による被害の程度や経年劣化の状況、利用頻度等を勘案し統廃合を進めるとともに、新たに整備する施設や改修等を行う場合においても、ライフサイクルコストを考慮し維持管理費の削減に取り組んできましたが、引き続き公共施設の維持管理費等の適正化に努めます。

問 人口減少や廃炉等により、税収及び電源立地に関する交付金の大幅な減少が見込まれることから、公共施設について長期的な視点を持って長寿命化や統廃合をし、財政負担の軽減や平準化を図ることが重要と考える。町公共施設等総合管理計画が改定され1年が経過するが町の見解は。

問 計画によると、「現在保有している公共施設等を維持していくと、改修や維持管理に係る経費が、税収などによる負担可能な金額を超えてしまうと懸念している」とされているにもかかわらず、今回、管理運営が難しい温泉施設の建設に向け、復興財源もつかないまま進められている。復興に欠かせないものであるならば、時間も労力もかかるが民間の力に頼ることで同等の施設設置や新しいサービスの提供ができるよう尽力することが必要であると考えますが。

問 福島市では、「提案型民間活力導入制度」を策定し、利用されていない公共施設や学校跡地などの利活用について、民間事業者にアイデアを提案させ、採用された事業者に利活用してもらうという施策を進めている。全国的に公共施設の管理や財政難で苦しんでいる自治体が多いことから、町の計画にある「民間の活力を導入する」との方針に基づき、PFI※の導入も含め、早急に官民連携に向けた事業展開をしていかなければならないと思うが。



指定管理者により運営されている町内施設の一例



※PFIとは
民間の資金を活用して公共施設等の整備を図ることで、企画・建設・維持管理等の一部又は全部を民間に委ねるものです。

問 町長 地域で不足している買い物環境と、憩いと交流の場となる温浴施設を複合的に整備することを検討しています。皆さまの意見を丁寧に向いながら、後年度に大きな財政負担とならないよう整備計画を検討した上で、民間の力についても可能な限り活用したいと考えています。

問 総務課長 本町においては指定管理者制度、借上げ型町営住宅方式を導入しています。PFIについては町村レベルでの先進事例がなく、本町においても適合するかは難しいと考えています。福島市の事例については適合するか検証し、今後の研究課題とします。

問 町長 専門職員など一部の職員に業務が集中していることはないか。業務多忙により心身共に不調となることで、集中力欠如によるケガや事故などが増えることが懸念される。職員の業務平準化について町の見解は。

門職の職務内容によっては、一時的に業務が集中してしまう場合があります。計画的な職員の採用を行うとともに、外部研修など職員一人一人の資質と能力の向上を図ることで組織全体の底上げをします。また、各課事務事業を再度検証することで合理化・適正化を図り、業務量を調整することで職員の負担軽減に努めます。

問 移住のニーズに対応する準備を

答 定住人口の増加を目指した取組を検討

問 町長 定住する際には、なるべく費用負担が少ないように、町有地で建物が建っていたよう

問 町の最重要課題である移住、定住促進について、町有地を利用した住宅地の整備等費用負担の少ない、移住のニーズに対応する準備が必要と考えるが、町の考えは。

問 総務課長 新築家屋に20年以上住んだら無償で譲渡する先進事例があります。当町に移住したいと考える方にとっては大変大きな魅力、訴求効果がある政策であると考えます。実施に向けては、まず先進地の事例等を調査するなど準備が必要かと考えています。

問 町長 移住、定住には子育て環境の充実が必要であり、今後町はどのような施策を考えているか。

な場所であれば、大きな造成など必要なく住宅地にできるのではないかと思う。例えば10年か、20年か、そこに家を建てて住んでいたければ無償譲渡するというようなやり方もある。町でどう捉えるか。

ら、帰還と移住の促進を図るため、今後も国や県等の関係機関と連携し、通信事業者に対し要望していきます。

問 町長 テレワークの普及で移住を希望する条件には、高速ブロードバンド環境の充実が必要であると考えますが、町の考えは。

問 町長 高速ブロードバンド環境の充実、地域住民の皆さまの生活や仕事環境の向上につながることを



7月1日に移住者交流会が開催されました

問 町長 2020年12月の総務省による自治体DX推進計画策定や2021年9月のデジタル社会形成基本法施行とデジタル庁発足など、行政DX※に関する動きが活発化しているが、町の取組状況は。

問 町長 行政DXの堅実な推進による業務の効率化に努め、限られた人員で最大の効果を目指して取り組んでいます。

問 町長 子育て奨励金にして最長3年間という期間を延長する考えは。

問 町長 堅実な推進による業務の効率化に努める

問 町長 今後シミュレーション等を重ねながら、年数や奨励金の在り方について検討をしたい考えです。



入居が開始された新田団地

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 〇 議会議務局
- 〇 生涯学習課
- 〇 教育総務課
- 〇 住民課
- 〇 出納室
- 〇 税務課
- 〇 企画課
- 〇 総務課
- 〔所管課〕



※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

＜行政区のあり方について＞

- Q** 行政区の活動に対する区長会役員の意見は。また、行政区と町内居住者をつなげるための方策は。
- A** 『町内での活動自体が難しい』との意見や『町内行事等に参加したいという思いはあるものの、行政区として集まるのは難しい』という意見がありました。また、行政区の方々が集まれるきっかけづくりや新たな居住者とのつながりづくりへの支援は非常に重要であると考えことから、今後、行政区の枠にとらわれず、町内居住者とも意見交換の場を設け、こういった支援が必要なのか協議したい考えです。【総務課】

＜交流人口拡大のための整備について＞

- Q** サテライトオフィスの進捗は。
- A** 令和4年度に整備が完了しています。令和5年6月にプロポーザルにより運営業者を選定し、今夏に運営開始の予定です。



1階は主に明るく開放感のある
コワーキングスペース※



2階は利用人数の異なる
10室の専用個室

※コワーキングスペース：異なる職種や仕事を持つ利用者が同じ場所でイスや机、ネットワーク設備等をシェアしながら仕事をする場所。

【企画課】

＜図書館の蔵書管理について＞

- Q** 図書館の蔵書の入れ替えの頻度や購入の基準は。また、図書館にない本の希望があった際の対応は。
- A** 蔵書の入れ替えについて、図書館の委員会で年次計画により行っています。リクエストについてはご意見箱への投函や司書へお伝えいただくなどしてもらい、できるかぎり要望にお応えできるようにしたいと考えています。



ご意見箱が設置されています

【生涯学習課】

＜電子ネットワークの更なる活用を＞

- Q** 電子ネットワークでの情報発信について、登録者数や利用者増の取り組みを。
- A** 現在は下記の電子ネットワークでの情報発信をしており、今後は町公式ホームページを見やすくするためのリニューアルや、若年層の利用者増と町の周知拡大を図るためInstagramの運用開始に向け準備中です。

町公式ホームページ／町公式YouTube
町公式Facebook／とみっぴーFacebook
とみおかアプリ／LINE@



※7月1日より
町公式 Instagram が
はじまりました。

▲Instagramは
こちらから

【企画課】

＜富岡町を知ってもらうために＞

- Q** 屋外に設置されている製塩体験ができる塩釜に屋根をつけることで、更に利用しやすくなるのでは。また、体験学習で使用する資材について、体験者と線量測定することで富岡町の現状を知ってもらうきっかけになると考えるが。
- A** 屋根について、どのような設備が必要かを検討します。また、製塩体験については常設展示室において富岡町の製塩の歴史を説明することで富岡町の歴史から学んでいただくことも行っています。製塩に限らず、測定等も絡めることで資料としても学習効果としても高まるものと考えます。今後は町内農業者との連携や開催頻度を増やすなどで参加しやすい土台作りや周知等にも力を入れたい考えです。



雨の日は屋根の下で行う
など工夫されています



2021年の夏休みには親子
体験ツアーで線量測定体
験や製塩、できた塩で富
岡町産のタマネギを試食
しました。

【生涯学習課】

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会が調査した主な事業について報告します。

- 産業振興課
- 都市整備課
- 農業委員会
- 生活環境課
- いわき支所
- 郡山支所
- 福祉課
- 健康づくり課

【所管課】



※常任委員会とは②

全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。行政視察や事業の現地視察も実施します。

＜公園整備について＞

Q 今年度行う富岡公園の測量の目的は。

A 現在公園に上がる道が北側県道から歩いて上がるスロープと階段のみであり、利用促進や維持管理のため車での進入路を整備する計画です。今年度測量を実施し、可能であれば来年度から整備を実施したい考えです。



現在の進入路は北側から徒歩のみのため公園利用や管理が困難



学校や駅の近くという立地や高台での眺望の良さを活かした公園を目指します

【都市整備課】

＜放射線量の周知を＞

Q 町内で採取された山菜等の放射線量について、詳しく周知すべき。

A これまでも、情報誌やホームページ等で周知をしてきており、今後も町民の放射線に関する知識の醸成を図れるよう、しっかりと周知していきます。



とみおか放射線情報
まとめサイトは
こちらからだっぴ♪

【健康づくり課】

＜町民の不安解消のために＞

Q モニタリングの方法は。また、それに伴うフォローアップ除染への速やかな対応を要望する。

A モニタリングは主に歩行モニタリングで道路、路肩などを委託しており、線量が高い箇所は測定後すぐに着手してもらいます。また、個人からの相談があった際は役場職員が測定に伺い、環境省に依頼をします。

【生活環境課】

＜安全確保が重要＞

Q 新型コロナウイルス感染症が落ち着いてから、富岡わんぱくパークの来場者数が増加している。嬉しいことだが、混雑で入れないお子さんがいたようなことはないのか。また、安全の徹底を。

A 指定管理者からの情報において来館者多数のための混乱はなく、希望者は皆さま入館できているものと判断します。また、利用者の安全が第一と考えますので、指定管理者への意見聴取を行いながら、安全管理を徹底していきます。



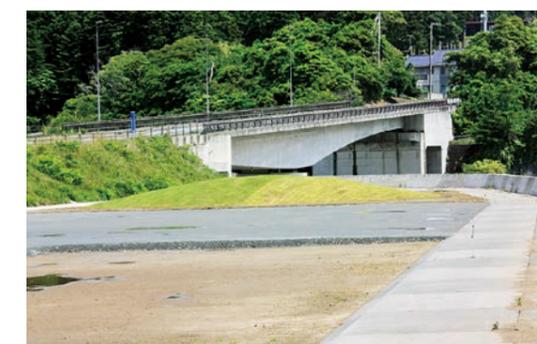
連日、子どもたちの楽しそうな声で賑わうわんぱくパーク

【福祉課】

＜漁港整備の目的は＞

Q 富岡漁港の工事内容と目的は。

A 駐車場エリアや北側の河川側の築山など、最終的に公園的な整備が目標で、地元の懇談会でも検討を重ねています。窪地の埋立部分は駐車場エリアとして県が舗装工事を発注し、トイレの整備も県に要望中です。



漁港入口北側、県により広く整備工事が行われています

【産業振興課】

1号機原子炉格納容器内部調査 について徹底議論!!

◆想定に留まらず先駆けた対策を

(安藤正純)

- Q** 内部の機能喪失に関する基本的な考え方について、最悪のケースを想定し二重三重の対策をとることで説得力が生まれ、納得が得られるのでは。
- A** 念のために、想像を広げたシナリオを検討しても、大規模な損壊等に至る可能性は低いと想定していますが、万が一の事態に備えた方策を検討しています。
(東京電力HD株)

◆より詳しい内容説明を求める

(渡辺正道)

- Q** 格納容器内に存在する堆積物の詳細は。
- A** 塊状の堆積物のほか、原子炉の起動停止や緊急停止の際に制御棒を動かすための装置の配管等も落下していることを確認しています。
(東京電力HD株)

◆耐震評価の信頼性は

(遠藤一善)

- Q** 事故による熱の影響は大きかったと考えるが、映像による耐震評価の信頼性は。
- A** 映像の目視により確認された内部の状況を踏まえながら、評価モデルを構築して、耐震評価を実施しているところです。
(東京電力HD株)

◆万が一の想定と体制の検討を

(佐藤教宏)

- Q** 支持機能の喪失により冷却機能が働かなくなった場合に少しでも早く冷却ができる体制を検討してもらいたい。
- A** 万が一の際に備え、機動的対応として消火ポンプ等により原子炉格納容器内を冷却できるよう準備していますが、様々なケースを想定し、対策を検討します。
(東京電力HD株)

【個人情報流出への対応は】



渡辺正道

ダイレクトメールや請求書の誤送付により個人情報が流出した件で、悪用の懸念への対策や今後については、

なりすまし請求ができないよう委任状を用いて本人確認ができるようにすることや、犯罪につながらないよう総点検をします。また、それぞれの該当者に状況の説明をさせていただいたうえで、何かありましたらご対応させていただくということだと思っています。



東京電力HD株

【地元への配慮について】



東京電力HD株

本町地区に新設される福島第二原子力発電所新企業センターの建設にあたり、地元住民への説明会や周辺環境・交通への配慮を徹底するよう求める。

分かりやすく丁寧な説明を行います。また、工事中に限らず供用開始後も状況をモニタリングしながら交通等の運用を検討します。



宇佐神幸一

帰還困難区域の今後について

＜地元住民に寄り添った計画策定を＞

◆除染解体工事及び中間貯蔵施設への輸送並びに特定廃棄物埋立処分事業の状況について／特定復興再生拠点区域復興再生計画の変更について (環境省・企画課)

- 問** 県道小良ヶ浜野上線について、国道へアクセスするためには大熊町側の除染が必要だが、状況は。(渡辺三男)
- 答** 内閣府
現在、除染対象とはなっていないが、できる限り住民の利便性や安全安心につながるよう検討していきます。
- 問** フォローアップ除染の基準となる数値は。(佐藤教宏)
- 答** 環境省
周辺の状況や、周辺との比較等で状況が異なるため、基準値が明示できません。ひとつひとつ個別に判断します。
- 問** 今後の状況や、周辺との比較等はご相談ください。
- 答** 生活環境課
町から環境省に繋ぐことも可能なので、線量の不安がある際はご相談ください。
- 問** 今後の帰還困難区域の道路の解除にあわせ、立入への規制緩和をしてもいいか。
- 答** 内閣府
住民の皆さんの気持ちを尊重し、しっかりと町と協議します。
(堀本典明)

◆特定帰還居住区域に関する福島復興再生特別措置法の一部改正及び特定復興再生拠点区域外への帰還意向調査について (内閣府・復興庁)

- 問** 特定帰還居住区域の復興再生計画策定の流れは。(佐藤啓憲)
- 答** 企画課
特定復興再生拠点区域の復興再生計画と同様に、議会や住民への説明にて意見を伺いながら計画を検討し、策定後は総理大臣の認定を受けるため正式に国へ申請します。
- 問** 帰還希望者の近隣が未除染とならぬように進めることを、国も柔軟に対応してもらえるのか。(遠藤一善)
- 答** 内閣府
帰還者の安全安心のために生活圏を広く捉えながら、区域設定を町とも相談して進めます。
- 問** 町としても面的に広い区域の計画を策定していきたいと考えています。
- 答** 企画課
国は、町で策定した計画を尊重し、除染範囲を狭めるようなことがないよう要望する。
(佐藤教宏)
- 問** 地元へ寄り添い、一緒に考えていく姿勢で臨みます。
- 答** 復興庁

帰還困難区域である小良ヶ浜地区および深谷地区にて道路・公共施設等の除染状況を現地確認しました。(6月15日)



5か所の現地確認を行い、環境省および町から説明を受けました

復興へのあゆみ

Step.29

様々なイベント等で、町民の方から多く聞かれるのは『富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活を送っていると、富岡町が今どうなっているのかわからない』という声です。皆さまの先が見えない不安を少しでも解消できるように、富岡町の現状をお伝えします。

2023. 5.17

移動図書館 移動販売

町内を巡る移動図書館に移動販売車が同行する取り組みがありました。(写真は社協での様子)



2023. 5.26

アユ稚魚放流

今年も富岡川にアユの稚魚が放流されました。元気に泳ぐ姿に夏の訪れを感じます。



2023. 5.20

富岡町にこここども園・小・中学校 合同運動会

「心を一つに！みんなの全力見せつける!!」をスローガンに午前中は雨のため体育館で、昼食をはさんで午後は校庭にて運動会が行われました。



2023. 6.26

衣料品販売

さくらモールにおいて衣料品の販売が行われ、多くのお客さんと賑わいました。



2023. 7. 6

放課後児童クラブ 安全祈願祭

町立富岡幼稚園跡地に建設される放課後児童クラブの安全祈願祭が行われました。



視察研修レポート ～原子力発電所関連施設～



令和5年6月28日から30日の日程で原子力発電所等に関する特別委員会において視察研修を実施しました。

【研修先】 ・日本原燃株式会社
・リサイクル燃料貯蔵株式会社

日本原燃株式会社



【議員からの質問・意見】

- ・施設、設備の安全性に関すること
(事故や外的要因等への想定や対策について)
 - ・技術の向上に関すること
(海外との比較等)
 - ・処理水に関すること
- 等

リサイクル燃料貯蔵株式会社



【議員からの質問・意見】

- ・施設、設備の安全性に関すること
(事故や外的要因等。耐用年数や起こり得る問題への想定等)
 - ・今後の計画について
(キャスクの貯蔵年数やその後のこと、協定による計画に関する事等)
- 等

研修所見

今回の視察先は、原子燃料を製造し、原子力発電所で使用された使用済燃料を再び利用できるよう処理することで「原子燃料サイクル」の確立を目指す日本原燃(株)と、使用済燃料を乾式貯蔵という方法で貯蔵管理するリサイクル燃料貯蔵(株)を視察した。

今後、東京電力(株)福島第二原子力発電所の廃止措置計画遂行に向け、町内に設置される乾式貯蔵施設に使用済燃料を一定期間保管しなければならぬことから、視察した当該施設の重要性は明らかで、まだ実現されていない「原子燃料サイクル」が確立されることは、町外への早期搬出への第一歩であると考えられる。

ちよとと

みなさまの声

Q.配属後の感想と今後の展望についてお聞かせください。

A. これまで2度双葉署に勤務しています。

1度目は平成26年に道の駅榎葉臨時庁舎で勤務しました。昨年2度目の着任で夜の森地区の巡回連絡と町内の警戒、津波被害で所在不明の方とパトカーで流された同僚・後輩の捜索等に従事しています。夜の森の復興を見据え、治安維持の面から地域を支えたいと考えています。

Q.富岡町民の皆さまへメッセージをお願いします。

A. 震災から12年となる夜の森地区を夜間徒歩警ら中、蛍が夜ノ森駅付近に群れて飛んでいるのを見かけました。駐在所が、帰還した皆さんや町を離れている皆さんの「安心安全の灯」として見える活動を進めていきます。



地域とのつながりを
とっても大切に考えて
くださる笑顔の優しい
おまわりさんだっぴ♪



福島県双葉警察署
鈴木正文(すずきまさふみ) 巡查部長
いわき市出身

【経歴】

- 昭和58年 県立湯本高等学校卒業
- 平成元年 明星大学人文学部卒業
- 平成2年 福島県警察官拝命
白河署を振り出しに、
県内一円で勤務
- 令和4年 双葉警察署夜の森駐在所
夜の森地区解除とともに
同駐在所単身赴任で居住

議会を傍聴しませんか？

- 9月定例会は、12日(火)～14日(木)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所(市町村名まで)・氏名・性別・年齢を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



編集後記

5月以降、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、2類相当から5類となり、活動制限された町内のイベントも盛大に開催される状況となりました。5月20日には富岡小・中学校・こども園の合同運動会が開催され、計127名の子どもたちが元気に1等賞を競い合いました。子どもたちの真剣な表情と指導していただく先生方、家族の大きな声援で一体感のある楽しい運動会になりました。今年度は、町民の絆を繋ぐ各種イベントも開催されますので、ご家族みなさんで楽しみましょう。引き続き議会広報委員一同、町民の皆様にも親しまれる議会だより編集に努めてまいります。見ご要望等ありましたら是非お寄せください。

(佐藤 啓憲)

発行責任者

議長 高橋 実

議会広報特別委員会

委員長 高野匠美

副委員長 佐藤啓憲

委員 佐藤教宏

委員 堀本典明